

第6回（最終回！） 気候市民会議まつもと Climate Assembly Matsumoto

2025年1月25日（土）13:00～17:00

松本市役所 本庁舎 大会議室

主催：気候市民会議まつもと実行委員会

参加者：無作為選出された松本市民 47名

本日の主題

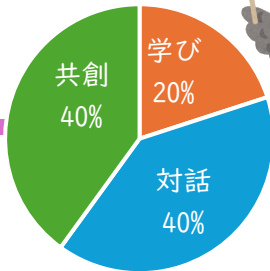
2025年1月25日（土）
第6回
テーマ：市民アクションプランの検討②

→目標

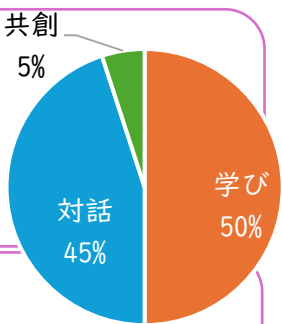
- (1) 市民アクションプランの項目の合意
- (2) 今後についての意見交換
- (3) `わたし、のアクションの検討・発信

情報提供者：
三上直之さん

（名古屋大学大学院環境学研究科教授）



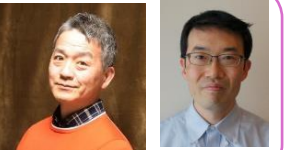
9月7日（土）第1回
テーマ：気候変動の現状
情報提供者：江守正多さん、浜田崇さん



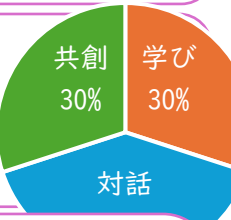
9月28日（土）第2回
テーマ：気候変動対策
情報提供者：平林高広さん、鈴木博史さん、Y-CAM



10月26日（土）第3回
テーマ：気候変動対策の検討①
情報提供者：平島安人さん、櫻井啓一郎さん



11月16日（土）第4回
テーマ：気候変動対策の検討②
情報提供者：高木直樹さん



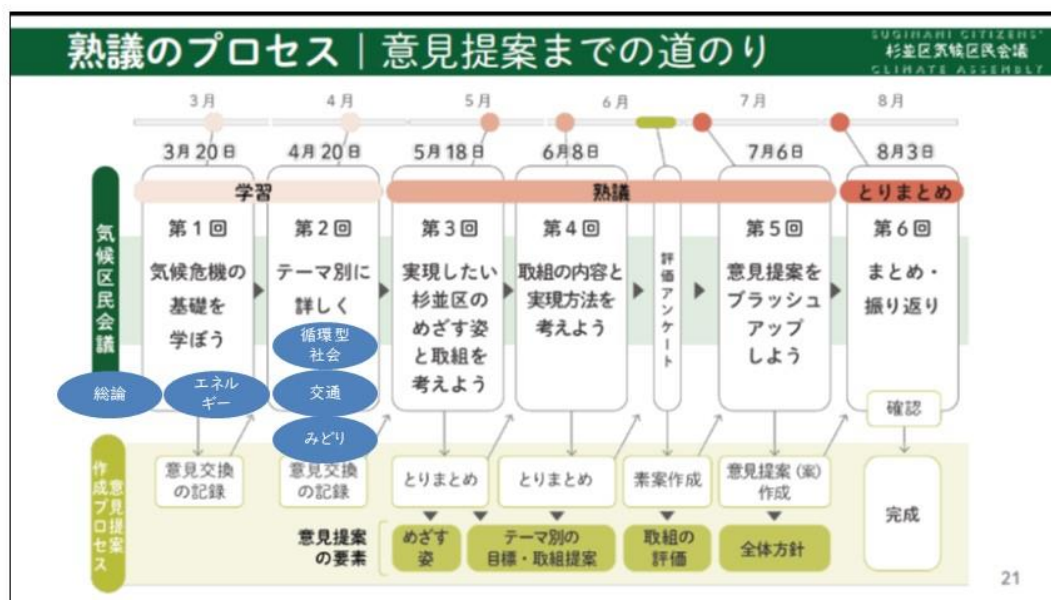
12月14日（土）第5回
テーマ：市民アクションプランの検討①
情報提供者：石川智子さん、松本市交通部
三井康弘さん、岡田健さん、竹内豊明さん
藤川まゆみさん



2025年3月22日（土）
気候市民会議まつもと 報告会



第5回CAMのふりかえり シヨートver.



引用:杉並区気候区民会議ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた意見提案(2024年8月)

www.iges.or.jp

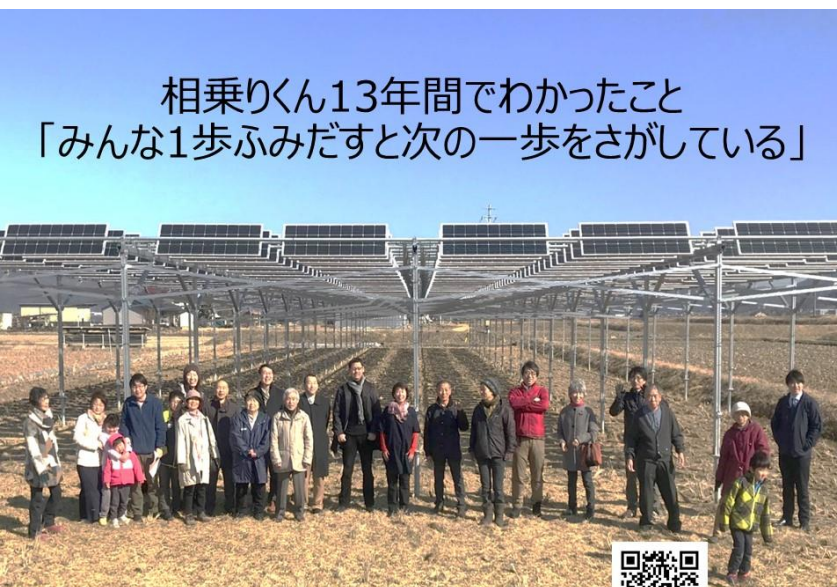
杉並区気候区民会議の取り組み事例



令和6年12月14日(土)
松本市 交通部

(70名の移動、平成26年撮影)

第5回CAMのふりかえり (続き)



相乗りくん13年間でわかったこと
「みんな1歩ふみだすと次の一步をさがしている」

YouTube 相乗りくん参加者インタビュー



動けば
変わる

あまりに
大きな課題



気候市民会議まつもと これまでの経過

9月7日（土）第1回

テーマ：気候変動の現状

情報提供者：江守正多さん、浜田崇さん

対話：学んだこと、感じた疑問や心配ごと



9月28日（土）第2回

テーマ：気候変動対策の取り組み

情報提供者：平林高広さん、鈴木博史さん

信州大学社会学研究室

対話：疑問点・不明点、大切と考えること

興味のあるテーマ・対象



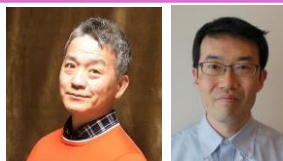
10月26日（土）第3回

テーマ：気候変動対策の検討①

情報提供者：平島安人さん、櫻井啓一郎さん

対話：テーマ別検討グループの構成

市民アクションの例、政策提言の例



関心を4つの
テーマに集約



専門家や実践者からの学び



参加者同士の対話



市民の協働に結実させたい



Y-CAM作成：疑問に関する資料集



自分ごとプラネットで排出量計算

11月16日（土）第4回

テーマ：気候変動対策の検討②

情報提供者：高木直樹さん

対話：市民アクションのアイデア・リストづくり

→300を超える意見が挙がった



12月14日（土）第5回

テーマ：市民アクションプランの検討①

情報提供者：石川智子さん

松本市交通部

藤川まゆみさん

対話：アクションプランの項目を20項目に整理

→さらに意見を出しあった→意見は類型500を超えた



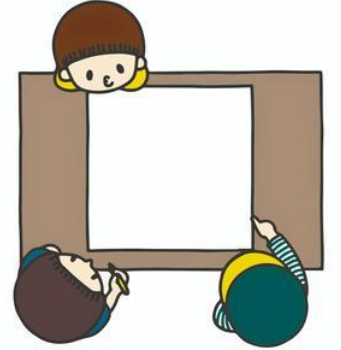
2025年1月25日（土）第6回

テーマ：市民アクションプランの検討②

対話Ⅰ 市民アクションプラン（案）の検討

60分

松本市のゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組みをさらに進展させるため、市民自らが行動すべき事柄を市民アクションプラン（案）に整理しました。



- アクションプランの項目を0～20の21に整理
- それぞれに「具体的なアクション」
- 「市民アクションを支える社会的しくみ」をリストしました。

※お手元の配布資料

- ①市民アクションプラン（案） 23頁
- ②市民アクション（案）一覧 4頁
- ③これまでの意見・アイディア一覧

各グループで①アクションプランの項目

②具体的なアクション

③社会的しくみ

の内容、表現の仕方についてご検討ください。

（グループのテーマに近い項目を対象とさせていただきます。）

後ほど修正事項があればご提案いただきます。
報告者も決めてください。

※「概要」「関連する施策」は実行委員会で今後精査を進めます。

市民アクションプラン（案）の今後について

気候市民会議まつもと (Climate Assembly Matsumoto, CAM)

松本市のゼロカーボンシティ実現へ向けた取り組みをさらに進展させるため、市民自らが行動すべき事柄を検討し、アクションプランとしてまとめ、松本市民および松本市へ提言することを目的として開催します。



松本市民
16歳～74歳の方

5000名
無作為抽出

参加表明
くださった方

274名
約5.5%の方々

選出者

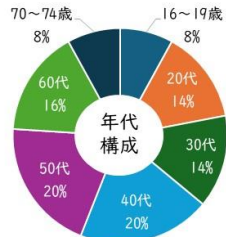
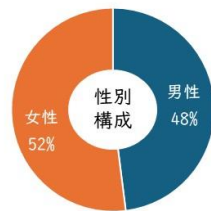
年齢層、性別、居住地域の
バランスを考慮して抽選

50名
抽選結果通知
最終意思確認

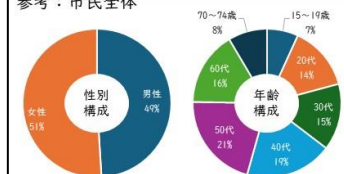
参加者 49名



参加者の皆さんはどんな方々？



参考：市民全体



■ 深志中・北（第一、第二、第三、東部、中央、城北、安原、城東、白坂）
■ 深志南（田川、庄内、鎌田、松南）
■ 東山部（岡田、入山辺、里山辺、本郷、四賀）
■ 南部（中山、芳川、寿、寿台、内田、松原）
■ 河西部（島内、島立、新村、和田、神林、笹賀、今井）
■ 西部ブロック（安曇、奈川、梓川、波田）

- これまでの内容に沿って、「概要」「関連する市や県の施策」の記載内容の精査を進め、3月の報告会に向けてとりまとめを行います。最終版は皆さんに事前に確認をいただきます。
- 原案の時点で49にのぼる「具体的なアクション」について、松本市民の縮図となるよう選ばれた皆さんの推進意向を客観的に把握し、今後の政策推進に活かすため、終了後（1/27～を予定）に「具体的なアクション」の推進意向に関する投票（定例としている事後のアンケート調査を含む）を実施し、報告書に資料として反映させます。
- ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ミニ情報提供 5分＋意見交換



三上直之さん

他地域の気候市民会議のその後

参加者の皆さん



「わたし」のアクションを
ぜひ教えてください



現在と未来をみんなでワイワイ考える
ワークショップ！

サステナブルなまちづくり 「井戸端かいぎ in 松本」

サステナブルシティってどんなまち？

第8回 井戸端かいぎ 今回のテーマは「食生活」

なんといっても食は、社会・経済、そして暮らしの中心テーマです。日々の食生活について、みんなで一考&意見交換！新しい気づきや発見に出会いましょう！

日時 2025年1月26日(日) 10:00～12:00

会場 松本市立博物館 講堂

(松本市大手三丁目2番21号)

<https://matsumoto-city-museum.jp/access>

★「井戸端かいぎ」について

『サステナブルシティってどんなまち？』を最上位の話題として過去7回開催。「暮らしやすいこと、住みたいと思えることが必要」「便利と暮らしやすいは異なる気がする」「今のやり方をそのまま続けていいのかわからない」など、毎回のテーマをみんなで考え、ワイワイ語りあってきました。新しい気づきが生まれるワークショップです。

参加者募集

「国々の運命は、その食事に左右される」という名言を生んだ200年前のフランスの哲学者ジャン・アンテルム・ブリャー＝サヴァラン。そして現代も、『何を食べるか』が、個人の暮らしはもちろん、社会、環境、そしてこの地球そのものにも影響します。

!?

食三昧の話しに花が咲く！

そんな日曜日の午前中を一緒にしませんか。

肉と魚はどっちが多い？

パンとご飯と麺の比率は？

他の人はどんなものを、どうやって食べているのかな？

お袋の味って何だろう？地域の食文化を教えてください！

最近、おにぎりつくったことありますか？

旬のものを食べてますか？イチゴの旬っていつだったけ？

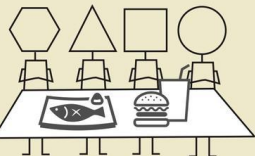
「食べ放題！」は好きですか？

食材やメニューを選ぶ基準がありますか？

日々の料理を负担に感じることはありませんか？

農薬や添加物は気になる？

地元の食材だけで料理するところがある？



■「食生活」ずいぶん変化しました。約80年前まで、日本人は主に7種類の食べ物を中心にした食生活だった。「根菜」「青菜」「青果」「山菜・きのこ」「大豆」「穀物」「海藻」、日本民族は、菜食主義の世界の中で最もベジタリアンの民族だった。また、日本人は世界一の魚食民族でもあった。※小泉武夫（農業博士、醸造・発酵の専門家）さんコラムより



などなど「食生活」についていっしょに考えましょう！

【参加：無料】（事前申込みをお願いします）

参加申込はこちらから <https://forms.gle/vQW9PC89c1s4smcW6>

スマホ・タブレットの方は、QRコードから事前申込ください。 ※当日の直接参加も可能です。



事前申込用QR

©主催：自然エネルギーネットまつもと 自然エネルギー信州ネット *本イベントは、パタゴニア環境助成金を活用して開催します。

●お申し込み・お問い合わせは：自然エネルギー信州ネット 090-9965-2374 (アサワ) または staff@shin-ene.net

上田市役所5階大会議室
(上田市大手1丁目11-16)
オンライン視聴あり
会場をメインに進行されます。ご了承ください。



お申込み



2024年度上田リバース会議

1/30(木)
18:00～20:30

定員 会場 50人
オンライン 80人



ゲスト 佐伯哲弥さん
富山市役所 活力都市創造部
まちづくり推進課 主幹

富山市「とほ活」HP



※「とほ(富歩)活」は富山で歩いて暮らすライフスタイル

歩きたくなつてリバース
富山市で、歩いて！乗って！参加して！
高齢者交通政策で
7億9000万円の医療費を削減
富山市コンパクトシティ戦略
「とほ活」に学ぶ
上田のまちづくり

※著書「公共交通が人とまちを元気にする」調査結果より

「歩くライフスタイル」を推進する富山市。ニューヨークタイムズ紙「2025年に行くべき52カ所」に選ばれました。今回は富山市まちづくり推進課の佐伯哲弥さんをゲストに、公共交通政策・「とほ活」・「おでかけ定期券」などがまちづくりにもたらしてきた効果を伺います。

要予約
参加無料



The Japanese Society of Snow and Ice

公益社団法人 日本雪氷学会 北信越支部

公開講演会

信州環境カレッジ協働講座

信州の雪は 将来、どうなる？

地球温暖化の影響で、日本の降積雪は大きな変化がみられるようになりました。
雪とともに暮らし、産業にいかしてきた信州の人々。今後、信州の雪はどうなるのか、
私たちは何をすればよいのか、皆さんと一緒に考えたいと思います。



* 話題提供 * 14:05 ~ 15:05



**近年の異常気象
と気候変動**
極端化する雪の降り方

井田寛子 氏
気象予報士・キャスター



**地球温暖化で
雪はどうなる？**
長野の雪は増える？ 減る？

川瀬宏明 氏
気象研究所 主任研究官



* パネルディスカッション * 15:20 ~ 16:00

信州の雪を守るためには



パネラー **川瀬宏明 氏** ❄️



高田翔太郎 氏 率
(一社) Protect Our Winters Japan 事務局長



中野比呂志 氏 ❄️
(株) 五竜 営業推進部

尾日向梨沙 氏 ❄️
Stuben Magazine 編集者
雪国飯山ソーラー発電所オーナー

進行役 **浜田 崇 氏**
長野県環境保全研究所

**参加費
無料**

2025年

2月11日 火・祝

14:00 ~ 16:00 (受付 13:30)

会場 **長野市生涯学習センター 4階 大学習室3**

〒380-0834 長野市大字鶴賀問御所町1271-3 (TOiGO WEST)
TEL.026-233-8080

&オンライン (zoomウェビナー)

申込はこちらから



申込みフォーム

<https://forms.gle/czKaVPRGKvmoa3u77>

問合せ先 ● 日本雪氷学会北信越支部 公開講演会担当 (浜田)
E-mail : hamada.takashi@gmail.com

主催 ● 日本雪氷学会北信越支部 共催 ● 長野県環境保全研究所 (信州気候変動適応センター)